

第1回榛原地域小学校の統合について協議する会議事録【概要】

R7.11.25 19:00~20:45

宇陀市役所 大会議室

1 開 会

2 委嘱・任命状交付

3 教育長挨拶

4 委員紹介、事務局紹介

5 会長、副会長の選出

○会長 竹村 謙司 委員 ○副会長 児島 康紀 委員

6 議 事

(1)榛原地域小学校の統合について

- ・宇陀市学校適正化のこれまでの経緯について 資料1
- ・「榛原地域小学校の統合について協議する会」の協議事項について 資料1
- ・児童数の推移について 資料2
- ・榛原地域の小学校について 資料3

○上記資料に沿って説明を行う。資料ごとに質疑応答を行う。

※ 協議する会では、一つ目として、学校統合の具体的な時期について、2つ目として、統合校として使用する学校施設についての2点について協議することを確認。

○質問、意見等

- ・本議事に入る前に、推進委員会の委員をしていたため、教育委員会から今回参加するにあたって事前に説明は受けているが、答申を受けて計画を立て、反対意見が出て、それを市自身が撤回しているという、ちょっと不手際のところ、なぜそういうふうになってしまったのかということの説明をしていただきたい。
- ・放課後児童クラブはどうなるのか。統合されるということは、学校内に児童クラブが設置されるとみておかないと、従来通りだとバラバラになってしまう。福祉関係の事業のため保育所関係の課が管轄だと思うが、バラバラのままだと別に変な費用を伴う可能性があるため、教育委員会も十分に一緒に考えておかないといけないと思う。
- ・榛原地域については3つの小学校と1つの中学校で施設分離型の小中一貫校を行うということだが、小中一貫校のイメージが湧かない。施設分離の中で小中一貫教育という意味合いが分からないので、4つの校舎を使ってどういう形で進めていくのかを教えて欲しい。
- ・次回の会議までに、バスの通学に関わることも資料を提示していただきたい。また、どの小学校に統合するかによって、きちんとバスが入るのかどうか。あとは、おおよそバスが何台必要になってくるのかも確認をしていただきたい。
- ・榛原地域の学校を1つにするということで話が進んでいるが、2個残すというような方向性はないのかということについて資料等を準備していただきたい。不登校の児童への配慮をした教育を進めていくために統合するということだが、こういった内容なのかを詳しく教えていただきたい。
- ・不登校が全国的には増加しており、榛原等においても小中の不登校が県平均或いは全国平均よりも上だという話を聞いたが、それは本当か。

- ・適正化の新たな進め方の４番目、学びの多様化学校を作るとある。市内学校の分教室としてということは、各学校に置かれるのか。それとも１つにまとめて置くということか。
- ・１校に統合するという際に、どこかの校舎を利用するのではなく、新たに１校新設するということは検討しなかったのか。
- ・施設分離型について、小学校、中学校での教育の仕方、接し方というのは、年齢に合わせて変わっていくと思うが、教育方針を一緒にするということは良いことであると思う。いじめなどのいろいろな問題が出てくるが、同じ体制、同じ形、同じ思いで進めていくということは、非常に必要だと思う。

【事務局から】

- ・統合については、あくまで３校を１校にすることを前提としている。
- ・小中一貫やバス通学等のご意見をいただいたので、次回の会議で資料を提示する。

○会長全体まとめ

- ・まず、小中一貫という部分に関わって、ぜひ、次回の会議のときには、教育方針を踏まえてというところで、何らか、皆さんに示すものがあればというふうに考える。
- ・学びの多様化学校の部分で、不登校の児童生徒というのは、委員の方々も、様々に心配されている部分でもあり、先ほどの資料の提示に関わる部分で、いくらかでもちょっと盛り込んでいただければ。
- ・バス通学に関する資料に関わっては、これは数字的なものというふうになると思いますので、適切な資料を出していただければ。

(2) その他

- ・委員の任期について
- ・２回目の開催日時について
- ・会議資料や委員名簿等のホームページ掲載について

7 連絡事項

8 閉 会